

蘇州益新泰格がスズケンとホルター心電図事業で業務提携

2019年12月、株式会社スズケン(以下、スズケン)が蘇州益新泰格医薬科技有限公司(以下、蘇州益新泰格)を訪問され、お互いが戦略提携関係に基づいてホルター心電図事業を共同展開することを決定し、契約調印式を行いました。式上において両社は会社概要や商品及びプロジェクト推進計画を紹介し、確認し合いました。今回の提携により、蘇州益新泰格はスズケンにホルター心電図グラフ解析サービスを提供することになり、このため社内に心電図プロジェクトチームを新設し本格的に始動しました。

スズケングループは、「世のため、人のため」という“創業のこころ”を礎に、中核事業である医療用医薬品の卸売だけではなく、新たな医薬品の研究・開発・製造、医薬品メーカー支援、保険薬局、そして介護に至るまで医療分野で幅広く事業を展開する唯一の企業グループへと進化しています。蘇州益新泰格はEPSグループ傘下の一員として、EPSグループの理念と行動指針を従って、中国国内の医薬臨床研究アウトソーシングサービス領域でトップレベルにいます。

2016年10月、フォーチュン500の一つで日本最大手の医薬品流通企業スズケンがEPSグループと資本・業務の戦略的提携を行い、益新集団に出資し、益新事業の躍進のきっかけとなりました。



心電図プロジェクト契約調印式

「日中をつなぐヘルスケア産業の専門商社」を目指し、蘇州益新泰格とスズケンが互いの長所を活かして産業チェーンを補完し、ホルター心電図事業の効率的展開に努力していきます。

蘇州益新泰格医薬科技有限公司
2020年1月20日